

東邦ホールディングス CSR報告書 2021

Toho Holdings CSR Report

ひとりひとりのエコアクト



共創未来

東邦ホールディングス株式会社

目次

[トップメッセージ]

医薬品の安定供給を通して、すべては健康を願う人々のために貢献します 3

[サステナビリティ方針]

企業価値を高めるとともに、持続可能な社会の構築に貢献します 4

[座談会]

「人のため」を心に刻んで、よりよい未来を築いていきます 6

[事業概要]

健康を願う人々のために、幅広い事業を展開しています

- ① **事業の全体像** グループ間の連携による相乗効果で、みなさまの健康促進をサポートしています 8
- ② **新型コロナウイルス感染症対策** ワクチン配送や職域接種を通して、感染拡大の防止に努めています 10
- ③ **医薬品卸売事業**
物流 高機能な物流体制を整えることで、いかなるときでも事業継続を可能にしています 12
顧客支援システム 独自のシステムを開発して、お客さまの課題解決に努めています 13
- ④ **調剤薬局事業** 地域医療と専門医療、その両方の充実に力を尽くします 14
- ⑤ **医薬品製造販売事業** 高品質なジェネリック医薬品を安定供給しています 15

[活動報告]

よりよい社会づくりのお役に立てるよう、CSR活動に取り組んでいます

- ① **環境のために** エネルギー使用量を把握し、環境負荷の低減に取り組んでいます 16
- ② **患者さまのために** みなさまの健康をサポートするため、日々システムやサービスを進化させています 18
- ③ **顧客のために** システムや情報を提供して、医療機関が安定して事業を継続できるようサポートしています 20
- ④ **社員ののために** 幅広い人材の活用や研修制度を整えて、社員がいきいきと働ける職場をつくっています 22
- ⑤ **地域社会のために** だれもが健康に暮らせるよう、地域への支援を続けています 24
- ⑥ **株主のために** さらなる成長をめざして、ガバナンスの強化に努めています 26

編集方針

東邦ホールディングスは、医療・健康・介護に貢献することを目的とする事業体として企業の社会的責任(CSR: Corporate Social Responsibility)を果たすべく、さまざまな取り組みを積み重ねています。このCSR活動の内容と今後の方向性をステークホルダーのみなさまにご報告するために、2008年度より「CSR報告書」を作成しています。株主や投資家の方々はもちろんのこと、広く患者さまや顧客のみなさま、地域社会のみなさま、さらに社員をも加えて、わたしたちの事業に深くかわるステークホルダーとしてご報告の対象としました。

対象組織

報告の対象は東邦ホールディングスの連結会社についてです(非連結の子会社の一部も含まれます)。これらを文中では「東邦ホールディングス」と表記し、事業持株会社である「東邦ホールディングス(株)」と区別しました。なお、東邦ホールディングス内の特定の会社の取り組みを報告する場合は、次のように会社名を表記しています。

- **東邦ホールディングス(株)** 事業持株会社
- **東邦薬品(株)** 医薬品卸売事業運営会社
- **ファーマクラスター(株)** 調剤薬局事業管理会社
- **共創未来ファーマ(株)** 医療用医薬品の製造・販売会社

対象期間

2020年度(2020年4月1日～2021年3月31日)
一部、当該期間外の取り組みも含まれています

発行

2022年3月(次回発行は2022年11月予定)

注記 1: 文中の数値は端数を切り捨て処理しています 2: 「病院」は病床数20床以上、「クリニック(診療所)」は19床以下の医療機関を指します

医薬品の安定供給を通して、 すべては健康を願う人々のために 貢献します

みなさまの健康をサポートする企業として果たすべき責務とはなにか。
弊社代表が現在のおもな取り組みと今後の目標を申し述べます。



有 働 歌

東邦ホールディングス株式会社
代表取締役社長

2021年6月30日、当社の連結子会社である東邦薬品（株）と当社従業員が、独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）を発注者とする医療用医薬品の共同入札に関する独占禁止法違反で、東京地方裁判所から有罪判決を受けました。みなさまには、多大なるご迷惑とご心配をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

当社グループは、今回の事態を厳粛かつ真摯に受け止め、役員一同、コンプライアンスの徹底をはかり再発防止に取り組むとともに、信頼回復に向けて全力で努めてまいります。

「ひとりひとりのエコアクト」に取り組んでいます

わたくしたち東邦ホールディングスグループは、医薬品の安定供給という社会的使命を果たすことで、健康を願う人々に貢献したいと考えています。また、企業の安定的かつ長期的な成長と、持続可能な社会の実現に向けて、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）、およびコンプライアンスというそれぞれの領域における課題を洗いだし、各事業においてその解決に向けた取り組みを推進しています。さらに、社員ひとりひとりが地域に深く根差してこそその企業であることを心に刻み、日々の仕事においてよりよい環境づくりをめざして「ひとりひとりのエコアクト」に取り組んでおります。

配送効率の向上と「顧客支援システム」で課題を解決します

当社グループのコアビジネスは医薬品等の流通であり、いかにして環境保全に配慮しながら患者さまに製品をお届けするかが、わたくしたちの大きな課題でもあります。当社グループでは物流センターからお得意先への直送や共同物流を行なうなど、配送効率を向上させることでこの課題の解決に取り組んでいます。

また、わたくしたちは独創的なサービスの提供を通じて患者さまやお得意先の課題を解決するとともに、社会や地球環境の持続につながるようなビジネスモデルの構築をめざしています。その最たるものが当社独自の「顧客支援システム」

です。薬局本部システム「ミザル」は、過去の処方データをもとに医薬品の需要を予測して自動発注するため、配送回数が適正化され、環境負荷の低減が望めます。また、長年推進している医薬品や医療材料の分割販売は、お得意先の在庫負担を軽減し、医薬品や医療材料の廃棄ロスの縮減に大きく貢献しています。

医療従事者の方々をつなぐ役割を担っています

社会については国が推進する地域包括ケアシステムの構築に貢献するため、営業担当者が医療機関、薬局、看護・介護施設など関係職種の方々をつなぐ重要な役割を担っています。また当社グループの調剤薬局は地域社会における生活インフラとして人々の健康をサポートしています。調剤薬局の業務は、「モノからヒトへ」とシフトしており、わたくしたちも、薬を調剤してお渡しするだけでなく、患者さまひとりひとりに寄り添って、治療や生活の手助けをすることを心がけています。

多様な意見を取り入れることによってガバナンスの強化をはかっています

健全な企業経営を行なうために、多様な意見を経営に取り入れることも必要だと考えています。2021年6月には取締役構成を大きく見直し、独立社外取締役の比率を3分の1以上に引き上げたほか、女性の取締役を1名から2名に増員しました。また、指名・報酬委員会を新たに設置するなど、ガバナンスの強化をはかっています。

国連で採択されたSDGs（Sustainable Development Goals＝持続可能な開発目標）の17の目標のひとつに「すべての人に健康と福祉を」という項目がありますが、わたくしたちのグループスローガンは「全ては健康を願う人々のために」であり、わたくしたちがめざす未来や価値観とまさに合致しています。グループ社員一同、このスローガンを胸に、当社グループの安定的かつ長期的な成長と、持続可能な社会の実現に向けてよりいっそう力を尽くしてまいります。

企業価値を高めるとともに、 持続可能な社会の構築に貢献します

わたしたちは、ステークホルダーのみなさまとともに成長・発展し、社会に貢献できる企業をめざしています。医療および健康関連企業としての社会的使命を果たすとともに、事業活動を通じて、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）に関する社会課題の解決に取り組むことが、当社グループを持続的に向上させることになると考え、積極的に推進していきます。

当社は、グループのすべての活動がめざすべき目標として「グループスローガン」を定めています。また、取締役会において、環境・社会・ガバナンス要素を含む中長期的な持続可能性への取り組みについて基本的な方針を策定しています。

グループスローガン

全ては健康を願う人々のために

基本方針

当社グループは、「社会・顧客と共生し、独創的なサービスの提供を通じて新しい価値を共創し、世界の人々の医療と健康に貢献します」という経営理念に基づき、医療・健康・介護分野に携わる企業集団として、事業を通じた社会課題の解決に取り組めます。

当社を取り巻く環境の変化に応じたESG（環境・社会・ガバナンス）重要課題を特定し、ステークホルダーのみなさまと価値創造し、企業価値の最大化に努めるとともに、持続可能な社会の構築に貢献してまいります。

基本的な考え方

E [環境]

環境保全を現代社会の大きな課題と捉え、社員ひとりひとりが自覚を持って省エネルギーやCO₂排出抑制、廃棄物削減に取り組めます。

また、全員参加による環境負荷低減活動と、事業活動を通して次の世代に向けた環境改善を企業全体で積極的に推進することにより、地球環境との調和と豊かな社会の実現をめざします。

S [社会]

医療および健康関連企業としての公共性と社会インフラとしての使命を認識し、非常時でも医療提供体制を維持するため医薬品等の安定供給を最優先課題としています。また、社員ひとりひとりが、健康でやりがいを持って働ける職場であることが重要と考えており、ワーク・ライフ・バランスを実現する働き方改革にも取り組んでいます。

G [ガバナンス]

コーポレート・ガバナンス体制の充実を重要課題のひとつとし、コンプライアンスおよびリスクマネジメントの推進による内部統制機能の強化、さらにとり締り役会による経営監視機能と監査等委員会による監査機能を充実・強化することで透明性のある企業統治体制を構築しています。また、取締役会の諮問機関として、任意の指名・報酬委員会を設置し役員の指名・報酬等に関する意思決定の透明性・客観性を高めています。企業としての社会的責任を果たすとともに、持続的な成長による企業価値の向上を実現してまいります。



重要課題

| | 重要課題 | おもな取り組み | 具体的な内容 |
|-------------|--------------------------------------|--------------------------------------|---|
| E 環境 | エネルギーの効率使用 | 省エネルギー、CO ₂ 排出抑制 | ・ 配送の効率化によるCO ₂ 削減 |
| | 廃棄物の削減 | 廃棄物の削減 | ・ 医薬品廃棄ロスの削減 ・ ペーパーレス化の推進 |
| S 社会 | 医薬品の安定供給、品質・安全・効率性の向上 | 医薬品の安定供給、品質・安全・効率性の向上 | ・ 高機能な物流体制の整備 ・ 共創未来ファーマ独自の検証システムによる品質の担保 ・ 薬局本部システム「ミザル」活用による効率化 |
| | | 自然災害・パンデミックへの対応 | ・ BCP対策の強化 |
| | 人権尊重、人材育成、研修の充実 | 人権尊重 | ・ 専用の相談窓口を社内および社外に設置 |
| | | 人材育成/研修の充実 | ・ 各種研修の実施 |
| | 職場環境の整備 | 多様な社員が活躍できる環境整備 | ・ 性別・国籍等を問わない採用 ・ 取締役および執行役員への女性登用 |
| | | 労働時間管理の徹底 | ・ 残業時間の削減 |
| | | 柔軟な働き方 | ・ テレワークや時差出勤の活用 |
| | | IT技術の活用 | ・ 営業支援端末「Meissa」の活用 ・ 「顧客支援システム」活用による効率化 |
| | 健康管理 | 社員の健康管理 | ・ 栄養相談・健康相談の実施 |
| | 地域社会への貢献 | 地域への貢献 | ・ 薬局店舗での健康フェアや独自の取り組み ・ 自治体への「どこシル伝言板」の導入・推進 ・ 自治体との見守り協定の締結 |
| 創業の地世田谷への貢献 | | ・ 女子サッカークラブへの協賛 ・ 舞台芸術普及プログラムへの協賛 | |
| G ガバナンス | コーポレート・ガバナンス体制の充実/リスクマネジメント/コンプライアンス | コーポレート・ガバナンスの充実 | ・ 社外取締役比率の増加 ・ 指名・報酬委員会の設置 |
| | | グループ・コンプライアンス・リスク管理委員会の設置 | ・ グループ・コンプライアンス・リスク管理委員会の定期的な開催 ・ 実効性のある制度構築の検討 |
| | | 倫理綱領の周知徹底と法令遵守 | ・ 共創未来グループ倫理綱領の制定および周知徹底 |
| | | コンプライアンス研修の実施 | ・ 全従業員へのコンプライアンス研修の義務付け ・ 営業職に対する独占禁止法遵守に関する研修の実施 |

グループを挙げて コンプライアンスを強化しています

●委員会を設置して、定期的開催しています

「リスク管理基本規程」に基づき、「グループ・コンプライアンス・リスク管理委員会」を定期的開催しています。2020年8月7日開催の第42回委員会からは、東邦ホールディングス(株)代表取締役社長の有働敦が委員長に任じられるとともに、グループ全体から新たに委員を選抜して、コンプライアンスの強化に取り組んでいます。

●倫理綱領を配付し、法令や社会規範を周知しています

倫理綱領は、グループスローガンや経営理念に基づき、業務活動における行動指針を定めたものです。医薬品医療機器等法、薬剤師法、独占禁止法、景品表示法とそれに基づく医

療用医薬品卸売業公正競争規約などを遵守するためのポイントも解説しています。すべての従業員に配付し、各事業所に常備して業務委託先のスタッフにも周知徹底しています。

●コンプライアンス研修を充実させています

全従業員に対してコンプライアンス研修を義務付けており、倫理基準に関する内容や独占禁止法、医療用医薬品卸売業公正競争規約など、毎回テーマを決めて各自の意識を高めています。とくに営業職に対しては、独占禁止法遵守に焦点を絞った研修を実施し、社内規程のひとつである「独占禁止法遵守規程」の内容を具体的にレクチャーしています。たとえば、同業者との会合への参加には制限があること、参加した場合でも情報交換に制限があること、不適正な事例を見聞きしたときに内部通報制度を活用することなどです。

「人のため」を心に刻んで、 よりよい未来を築いていきます

社会にとって必要とされる存在になるにはなにをすべきか。
弊社の代表および幹部たちが、東邦グループの未来について語ります。

小さなことを積み重ねることが大事

有働：CSRは一般的に「企業の社会的責任」と訳されます。もちろん企業としてさまざまな責任を果たしていかなければなりません、社員にとっての社会的責任とはなんなのだろうとずっと考えていました。これから社会は脱炭素へ向けて一気に進んでいきます。わたしたちのメインの仕事は薬の配送ですから、大きなことを考えると、車をすべて電気自動車に……という話になってしまいます。もちろん努力は続けますが、簡単にできることではありません。一方で二酸化炭素削減に向けた技術革新もどんどん進むでしょう。その過程のなかで、わたしを含めて社員ひとりひとりが、自分のできる小さなことをコツコツと積み重ねていくことが実はとても大事で、それがまさにCSRなのではないかと思っています。

小林：小さなコツコツのひとつが、女子サッカークラブ「スフィーダ世田谷FC」との取り組みかもしれません。スポーツ活動を通じた地域活性化が本来の目的ですが、2012年から選手たちと一緒に本社周りの緑道や公園の清掃をしています。また、本社の会議室に選手や監督、コーチ、父兄を招いて、ライセンスを持つ薬剤師を講師にした女子アスリートメディカルセミナーなども実施しています。

駒井：薬剤師の地域活動といえば、(株)ファーマみらいには学校薬剤師を兼任している薬剤師がいます。コロナ禍ではサーキュレーター置き場所や子どもたちのマスクの管理の仕方、職員室での3密の避け方などをアドバイスしています。

鈴木：「ミザル」は、社員とお得意先との接触機会の低減に大きく貢献し、感染リスク回避にお役にいただけるシステムだと感じます。正しい運用によって配送回数が減ることで車を使用する機会も減り、二酸化炭素削減につながります。また、双方の作業が合理化されることになり、働き方改革につながるので、複数のSDGsの目標達成にも合致しています。

魅力ある業界に変えていきたい

有働：ロボットやインターネットなどの技術は大きく進化しています。人の仕事が機械に置き換わるともいわれていますが、薬を届けるという仕事そのものはなくなりませんね。

池田：物流センターを自動化する前は、女性スタッフが重い輸液剤を300ケースも積み込んだなんてことがありましたが、いまはロボットが積み込みます。そういう技術の導入によっ

て働き方も変わっていきます。ロボットを扱う技術者の採用なども必要と考えますし、女性リーダーの育成や管理職への登用などを通して、多様性を広げていきたいと思っています。

駒井：薬学部の学生には、当社はホールディングスなので、薬局の薬剤師だけでなくいろいろなキャリアプランが描けると紹介しています。一方で、地域に根ざした薬局で患者さまにしっかり向かい合いたいという学生さんもいるので、その場合にも希望に沿った働き方ができることを提案しています。

鈴木：MS(営業担当者)も地域に根ざして仕事をしています。今回のコロナワクチンの配送もまさにそうで、自治体や医療機関と協力して地域に入って活動し、評価されています。そのうえで、顧客支援システム提案活動を実践するなどといった新しいチャレンジもしています。

有働：当業界自体がもっと魅力ある業界にならなければいけないですね。いま日本が一番困っているのは医療費の増大です。この業界の人たちは「利益が減るから薬価を下げてほしくない」と思うけれど、一消費者の立場になれば、薬は安いほうがいい。わたしたちには「顧客支援システム」という公的資金に頼らない武器があります。人々に喜んでもらうことでビジネスが成立しうる。いまの医療費の課題を一消費者の感覚で議論ができて、解決に向かっていけるような人たちが集まってくれば、もっと強い会社になれると思います。

「人のため」に仕事ができる人材を育てていく

鈴木：社内活性化のために若い社員で構成された「MAXIS(マクス)プロジェクト」が始動しました。わたしも「営業の改革」チームの副責任者として若い人たちの発想に耳を傾けながら、サポートできればと思っています。

駒井：調剤薬局では、薬剤師が患者さま対応の時間を増やすために努力を重ねています。法改正により事務スタッフが調剤の補助をできるようになり、また、機械化も進んで、薬剤師は今まで以上に患者さまに向き合うことができるようになりました。求められるのは、薬以外にもさまざまな知識を持ち合わせ、その知識を患者さまの治療に生かせるようなコミュニケーション能力があることです。そのための教育の場を会社として提供しています。

池田：薬の配送では、お得意先に対して本当に親身になって働いているスタッフがたくさんいます。「あなたがいるから取引しているんだよ」と言われるくらい。そういう良き先輩



| | | | | |
|---|---|--|---|---|
| 東邦薬品(株) 北関東甲信越支社 支社長 鈴木健人 | 東邦薬品(株) 執行役員・企画推進部 副部長 小林雪江 | 東邦ホールディングス(株) 代表取締役社長 有働敦 | 東邦ホールディングス(株) 執行役員・ファーマジョイ東京部長 (株)ファーマみらい 取締役 駒井理 | 東邦ホールディングス(株) 執行役員 東邦薬品(株) 物流本部副本部長 池田聡 |
|---|---|--|---|---|

たちの姿を見せながら教育していくのも大事なと思います。
有働：そうですね。東邦グループのなかには、仕事はお金の
 ためではなく、「人のため」にするという文化が確実にある
 と思います。「全ては健康を願う人々のために」というグル
 ープスローガンも、この文化がもたっています。

多様な働き方のため、ときには例外で対応する

小林：働き方改革としては、労働時間や働き方を見直してい
 ます。働き方の選択肢を増やすことで、育児や介護のために
 優秀な人材の流出を防ぐことになり、新しい人材を採用する
 こともできます。多様な人が集まって異なる視点の発想が生
 まれ、イノベーションも生まれやすいと思います。

有働：さきほどの「人のため」ともつながりますが、ルール
 は設けているけれど、状況によっては例外という形で、その
 人の働きやすさを優先していますよね。

小林：柔軟に対応していただいています。保育園に入れなけ
 れば育休期間を延長するなどの対応をしていただきました。

有働：労働時間については、われわれ経営陣も毎月、全社員
 の残業時間を確認し、残業が多い事業所があれば、すぐ対応
 するようにしています。いまは仕事が人生のすべてという時
 代ではありません。仕事はライフワークの一部であり、家族
 と過ごしたり、趣味に打ち込んだりということができるよう
 な環境にしたいと思っています。

「人のため」を貫いて、必要とされる会社に

鈴木：自分にしかできない仕事と自分でもできる仕事の仕分
 けをして、MSがより働きやすい環境をつくるのが次のスト
 ーリーを成功に導くと思います。システムを受注して納品
 するだけを仕事の成果と考えず、向き合うコミュニティに対
 して包括的な提案活動をすることが重要だと考えています。

池田：ロボットの活用については、他社の追随を許さない
 ような技術革新への取り組みを引き続きやっていきたい
 と思っています。物流では、災害時の「BCP (Business

Continuity Plan) (事業継続計画) が重要ですが、一步進
 んで「BCM (Business Continuity Management) (事業継
 続マネジメント) を採り入れる検討をしています。お得意先
 が被災をしたときに連絡が来るまで状況がわからないのでは
 なく、こちらからそのエリアの被害を把握して様子をおうか
 がいするようなことができたらいいなと考えています。

駒井：(株)ファーマみらいは「けんこうサポートサービス」
 というLINEの情報提供により患者さまの体調管理をお手伝
 いしていますが、今後は高齢者へのサービスを充実できれば
 と思います。お会計の際に手間取っている方がいたら成年後
 見制度の案内をするなど、一步進んだサービスを提供できれ
 ばいいですね。また、最近は体だけでなく心の不調を訴える
 方も多いため、カウンセラーや臨床心理士による相談会など
 も開催できたらいいと思います。薬局は「治療インフラ」
 を超えて「生活インフラ」をめざす時期に来ていると思います。

小林：コロナ禍で難しい部分はありますが、異業種の方々と
 も活動し、本業に生かせる知見を広げることで社員みんなが
 ワクワク感とやりがいを実感できる会社になるといいですね。

有働：みなさんの話を聞いて、やはり社会にとって必要な会
 社でなければならないとあらためて感じました。有事があっ
 てもわたしたちは東日本大震災のときと同様、使命感を持っ
 て働くことができるでしょう。では、日常のなかでも必要だ
 と思われる会社であり続けるにはどうすればいいか。やはり
 「顧客支援システム」をもっと広めていかなければいけませ
 ん。「初診受付サービス」で初診の予約をしてくれる人はま
 だ7万人。必要な存在になりつつあるけれど、まだ足りてい
 ない。人のためになれば利益がついてくる。これはわたしの
 信念です。そのような形で会社が大きくなればこの会社はも
 っとよくなる。会社がよくなれば、社員ひとりひとりがプ
 ライベートでも社会のために活動する余裕がでてくるでしょ
 うし、仕事で「人のため」が染みつけば、自然にお年寄りに優
 しくすることができるでしょう。ぜひそんな未来にしてい
 きたいと思っています。

健康を願う人々のために、 幅広い事業を展開しています

医薬品卸売事業と調剤薬局事業および
医薬品製造販売事業を中核としつつ、
健康にまつわるさまざまな分野で活動しています。

1 事業の全体像

グループ間の連携による相乗効果で、 みなさまの健康促進をサポートしています

卸売事業とIT系の子会社が開発する「顧客支援システム」は、調剤薬局事業で実際に使用され、感想がフィードバックされることで機能が磨かれていきます。製造販売事業にとっても、グループ内に卸売と調剤薬局があることは大きな強み

です。市場でどれだけ需要があるかを把握できるため、計画的に薬を生産でき、常に安定供給が可能となっています。

これからも各事業間の連携を深めて、サービスの質を向上させ、みなさまの健康をサポートしていきます。

持続可能な社会の
実現に向けて、
全社一丸となって
活動しています



卸売



製造販売



製造販売(2社)

共創未来ファーマ/サンメディカル



卸売(10社)

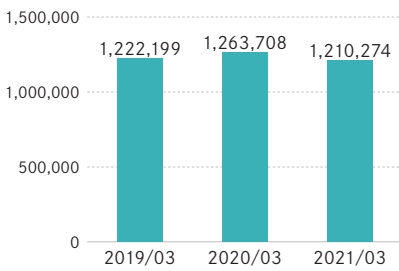
東邦薬品/セイエル/幸耀/
九州東邦/北陸東邦/沖縄東邦/
酒井薬品/大正堂/エムコム九州/日豊メディック

薬局(35社)

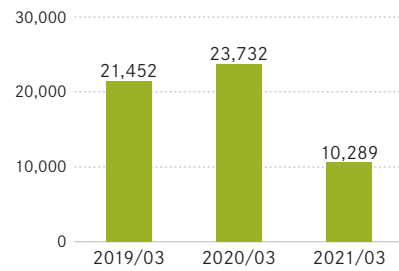
ファーマクラスター/ファーマみらい/
ファーマダイワ/キュア/ベガファーマ/
厚生/J.みらいメディカル/青葉堂/
セイコメディカルブレン/清水薬局/
コクリーボ/ファルコ/ケイ・クリエイト/
太誠堂薬局/共生舎/パールファーマシー/
峡北調剤薬局/アイケン/芳

財務データ(連結)

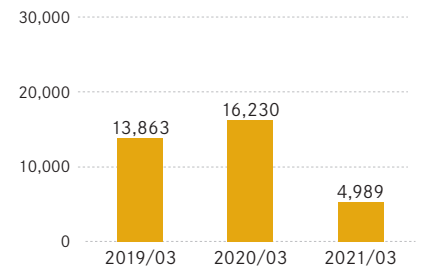
売上高 (単位: 百万円)



経常利益 (単位: 百万円)



当期純利益 (単位: 百万円)



今日も
欠品なし!

卸・薬局との連携で
安定生産・供給

対人の仕事に
専念できる!

自動音声認識で
薬歴作成を支援

ありがとう、
いつも助かる

薬剤師がご自宅に訪問

薬局

その他

ガソリンも
手間も節約!

「ミザル」の自動発注で
配送と検品の回数を削減

こんにちは

オンライン診療・服薬指導を
スムーズに

ぼくだけの
薬届いた!

低温管理で
スペシャリティ
医薬品を配送

徳薬局/センターファーマシー/ときわ調剤薬局/オージーブラン/サンライフ/明德ケアワーク/エヌ・エス・ライフコーポレーション/スター・システム/北陸メディカルプラン/ユーワイメディスン/なるみ薬局/ゼネラルファーマシー/アクロス/ブレイン/ストレッチア/ファーマみらいサポート/レオニス

その他 (20社)

東邦システムサービス/東京臨床薬理研究所/ホスピタルパートナーズ/ネグジット総研/e健康ショップ/テイク・グッド・ケア/アルファリア/オーファントラストジャパン/eヘルスケア/共創未来メディカルケア/東邦不動産/アルフ/スクウェア・ワン/オムエル/共創物流/ダイワ協業/共創企画/ユース/TSファーマ/エンタッチ

海外 (3社)

Toho Orphan Reliance
US / 湖北共創医薬有
限公司 / Kokando and
Kyoso Mirai Asia

2 新型コロナウイルス感染症対策

ワクチン配送や職域接種を通して、
感染拡大の防止に努めています

新型コロナウイルス感染症の流行を一刻でも早く収束させるため、ワクチンや関連製品をすみやかに配送するとともに、多くの人を対象に職域接種を実施しました。また、医薬品の流通がとどこおらないように、さまざまな感染予防策を行なっています。

厳格な温度管理のもと、
ワクチンをお届けしています

医薬品卸売事業の各事業所では、自治体からの依頼を受けて、医療機関や接種会場にワクチンおよび注射用針、シリンジを配送しています。ワクチンには、低温での厳格な温度管理が必要なものが含まれているため、物流センターに入荷してから医療機関や接種会場に配送するまでに、温度の逸脱や製品の破損などがなく常にモニタリングしています。

とどこおりにお届けするためには、各自治体からの要請に応じて、各事業所が柔軟に配送体制を整えることも大切です。地域の配送拠点として安定供給を担ったり、大規模接種会場から地域の医療機関に小分けにして配送したり、接種会場で過不足が生じた場合に接種会場間で配送したり、各事業所が地域の実情に合わせて配送を行なっています。

従業員およびそのご家族などに
職域接種を実施しました

2021年6月21日からグループの関連医療施設などでワクチンの職域接種を実施しました。従業員およびそのご家族など約7,400人が9月1日までに2回の接種を完了しました。3回目の接種も開始しています。



職域接種のようす

「顧客支援システム」で
医療体制を支えています

当社グループが提供する「顧客支援システム」は、コロナ禍における接触機会の低減にも貢献しています。

薬局本部システム「ミザル」は、医薬品の自動発注によって適正在庫の維持を実現できるため、頻回配送を減らすことが可能です。配送回数が適正化されることで、物流スタッフと薬局スタッフの接触機会の低減を実現します。

また、診療予約システムを利用することで、患者さまの院内や待合室での滞在時間が短くなり、院内感染のリスクが軽減されます。

同様に、オンライン診療・服薬指導システム「KAITOS（カイトス）」も、院内感染のリスクを負うことがないため、患者さまご自身やご家族の身を守るツールとして有効活用されています。当社は医療機関検索サイト「病院なび」のなかにオンライン診療実施医療機関の検索ページを設けるなどして、患者さまがよりいっそう受診しやすい環境を整えることで、オンライン診療の普及促進に努めています。

病院なびなら、
エリア・診療科目・各種条件で
オンライン診療対応の病院やクリニックが
すぐに見つかります。

オンライン診療対応医院の検索なら病院なび

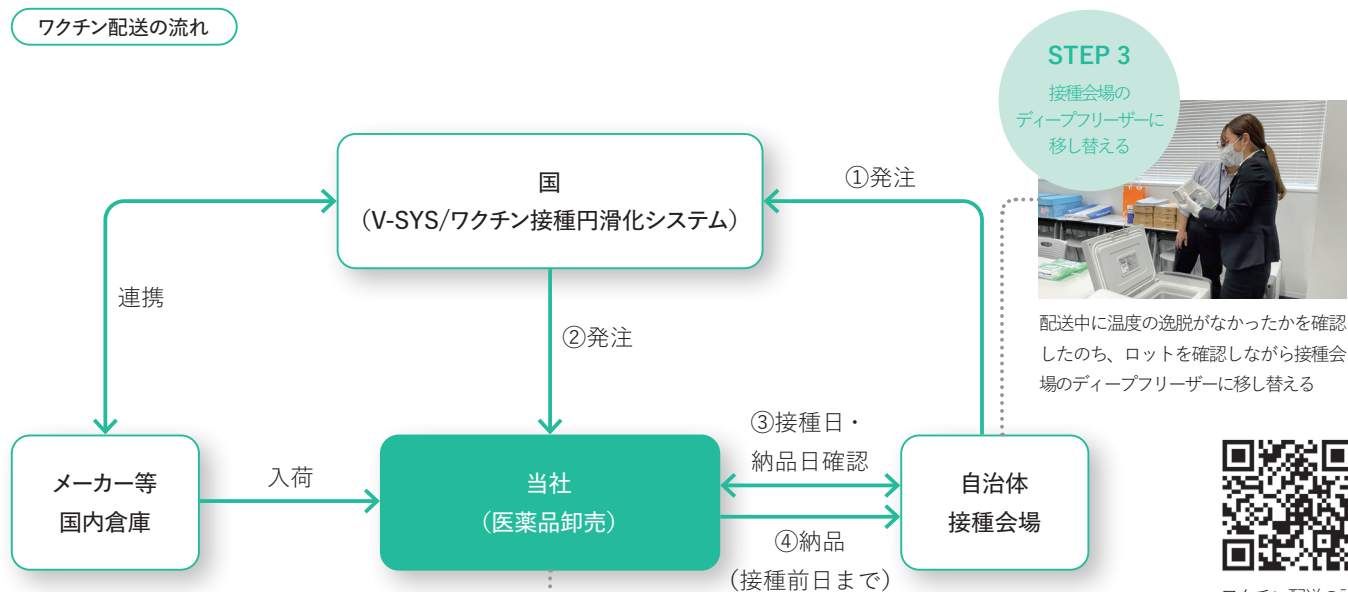
月間3千万以上の圧倒的PVの
病院なびに新機能

日本最大級の病院検索サイト、病院なびに、オンライン

Online medical care

オンライン診療対応医院を検索できる「病院なび」

ワクチン配送の流れ



ワクチン配送の詳細については動画をご覧ください。

STEP 1

TBCの冷凍庫で保管



製薬メーカーから当社のTBC(物流センター)に入荷するまでに温度の逸脱がなかったかを確認したのち、TBCの冷凍庫に保管する

STEP 2

営業所でディープフリーザーに移し替える



TBCから営業所へ配送し、ディープフリーザーに移し替える。輸送中も温度ロガーで温度を記録しながら、接種会場へ配送する

オンライン服薬指導や
医薬品の郵送を行なっています

調剤薬局事業の各店舗では、オンライン服薬指導や医薬品の自宅への郵送など、患者さまの要望に合わせた対応も実施しています。

また、「新型コロナウイルス感染症ハンドブック」を作成し、薬剤師から患者さまに対して感染防止のアドバイスを行なうほか、これまで店舗や地域で行なっていた健康フェアが開催できないかわりに、電話での栄養相談も行なっています。

2021年9月27日、医療用抗原検査キットの薬局での販売が可能になったことを受け、当社グループでも販売を開始しました。お得意先の在庫負担を軽減し、薬剤師が取り扱いやすいよう、1テスト単位での分割販売も行なっています。

グループを挙げて
感染予防を徹底しています

- ・会社指定のサージカルマスクの着用
- ・アルコールによる定期的な手指消毒の徹底
- ・社員および来訪者への検温の実施
- ・混雑時間帯を避けた時差出勤や在宅勤務の奨励
- ・オンラインを活用した面談・会議の徹底
- ・オフィス、店舗における毎日の消毒や飛沫防止の
アクリルパネル、ビニールシートの設置
- ・社内外での会食、イベントの中止

感染者が出た場合は、保健所に当人の行動履歴や勤務地での感染予防対策をすみやかに報告し、事業活動の継続に努めています。

3 医薬品卸売事業

物流

高機能な物流体制を整えることで、 いかなるときでも事業継続を可能にしています

生命関連商品である薬をどんなときでも確実にみなさまにお届けすることがわたしたちの使命です。高性能のロボットを導入し、災害やパンデミックのときも事業継続を可能にしています。

自然災害や感染症流行に備えて BCPを整備しています

薬の流通には着実なBCP (Business Continuity Plan 事業継続計画) が求められます。自然災害や感染症の流行が起こったときでもとどこおりなく薬を届けなくてはなりません。

●「NO検品」「センター直送便」「計画配送」を進めています

物流センターにピッキングロボットを導入することで、少人数でも正確に出荷できる体制を整えています。また、ロボットを活用した自動化による高い出荷精度を生かして、納品先で検品が不要になる「NO検品システム」、営業所を経由せずに病院に直接納品する「センター直送便」を推進。また、薬局では薬局本部システム「ミザル」の自動発注機能を活用した「計画配送」を推進し、医療機関や調剤薬局の作業負担も減らしています。

●災害時には東西の基幹システムを切り替えられます

当社の基幹システムは、東京のデータセンターで運用しつつ大阪のデータセンターでも常に同期をとることでバックアップ体制を整えています。仮に、物流センターが被災した場合も、供給元をほかの物流センターに切り替えることができます。

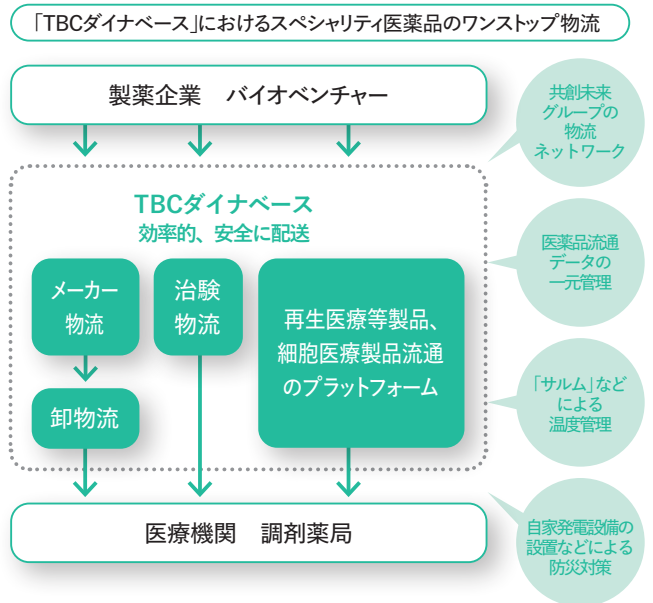
●「TBCダイナベース」で首都直下地震に備えています

新設した物流センター「TBCダイナベース」(東京都大田区)は、環状7号線の内側にある唯一の大規模医薬品物流セ

ンターです。基幹的広域防災拠点施設(有明の丘)や広域基幹災害拠点病院に近く、周囲にはヘリポートや海上輸送基地があり、首都直下地震に備えています。

「TBCダイナベース」を起点とした 新しいビジネスモデルに挑戦しています

「TBCダイナベース」の立地的なメリットを生かして、先端技術を有する製薬・ベンチャー企業の原材料の輸送や治験物流、メーカー物流、卸物流などの流通課題に全面的に協力することで、遺伝子治療医薬品・再生医療等製品・細胞医療製品などのスペシャリティ医薬品の流通プラットフォームの確立をめざしています。



(左)「TBCダイナベース」は各防災拠点に近接。(上)「TBCダイナベース」は京浜トラックターミナル「ダイナベース」の2~5Fを占める



(右)ピース品のピッキングロボットは26台が稼働。(上)商品を17方向から撮影することで商品の形を正確に把握し、的確にピッキングする

顧客
支援
システム

独自のシステムを開発して、 お客さまの課題解決に努めています

わたしたちは、患者さまや医療機関で働くみなさまのお役に立てるように、独自の「顧客支援システム」を開発し、提案しています。

「健康を願う全てのみなさまを 幸せにしたい」が原点です

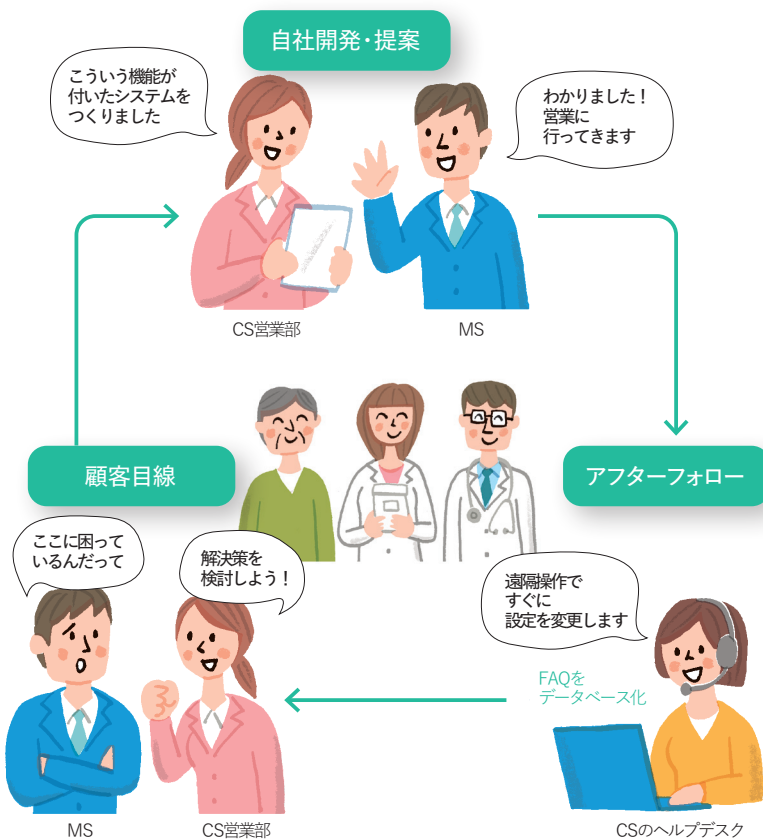
「顧客支援システム」の開発を始めたのは1990年代初頭です。当時、MSが病院やクリニックを訪問すると、早朝から患者さまが並んでいるのをよく見かけました。「自宅から電話で予約できれば、待たなくてすむのではないか」と考えて、診療予約システム「LXMATE(エルエックスメイト)」を開発しました。

また、医療従事者の方の「医薬品を簡単に発注したい。在庫管理を効率化したい」という声から、商品のバーコードを読み取って発注できる情報端末「ENIF(エニフ)」を開発し、時間の短縮と発注ミスの減少を実現しています。

お客さまの課題解決に 邁進しています

お客さまの課題を解決するための「顧客支援システム」を開発するなかで、大切にしていることが3つあります。ひとつめは「顧客目線」です。MSやヘルプデスクに寄せられる要望をもとに、お客さまの立場に立って開発しています。二つめは「自社開発・提案」です。要望を迅速かつ柔軟にシステムに盛り込めるとともに、代理店ではなく自社のMSが提案することで信頼を得ています。三つめは「アフターフォロー」です。MSが現場に赴いて便利な使い方を伝えたり、ヘルプデスクがリモートアクセスでメンテナンスしたりしています。お客さまからの要望はデータベース化され、開発部門にフィードバックされて、次のシステムにつながります。

当社グループの「顧客支援システム」の強み



「顧客支援システム」のラインナップ

- KAITOS(カイトス) ●●
- LXMATE HeLios(エルエックスメイト ヘリオス) ●●●
- 初診受付サービス ●
- 病院なび ●●●●●
- 病院なびホームページサービス ●●●
- ENIFファーマシー ●●●●●
- ENIFwin Nex-Sus(エニフウィン ネクスス) ●●
- FutureENIF(フューチャー エニフ) ●●●●●
- ENIFclub(エニフクラブ) ●●
- ENIFvoice SP+A(エニフボイス エスピープラスエー) ●●●●●
- ENIFvoice Core(エニフボイス コア) ●●●●●
- Core-POS(コア ポス) ●●●●●
- ミザル ●●●●●
- 医薬品分割販売 ●●●●●
- ENIFme(エニフミー) ●●●●●
- エニフナース ●●●●●
- e健康ショップ ●●●●●
- どこシル伝言板 ●●●●●

システム名のあとのマークは、そのシステムが対象としている顧客です
 ●：クリニック ●●：薬局 ●●●：病院 ●●●●：一般消費者、患者さま
 ●●●●●：訪問看護ステーション ●●●●●：薬剤師会 ●●●●●：自治体

「顧客支援システム」の詳細はこちらをご覧ください。



4 調剤薬局事業

地域医療と専門医療、 その両方の充実に力を尽くします

当社グループでは、770を超える調剤薬局が全国各地で地域に根ざした店舗運営を行なっています。その特色をご紹介します。

地域で必要とされる 薬局・薬剤師の育成を進めています

2020年の薬機法（医薬品医療機器等法）の改正を受けて、2021年8月から機能別薬局の認定制度が始まりました。これは患者さまが自分に適した薬局を探しやすいように、薬局を「地域連携薬局」と「専門医療機関連携薬局」に認定する制度です。前者は、地域のクリニックやほかの薬局とも連携し、医療機関と自宅療養の患者さまをつなぐ役割を担う薬局のことで、入退院時の情報共有などのサポートも行ないます。後者は、がんなどの専門的な薬の管理に対応でき、専門病院と連携できる薬局のことで、近年は、がんや難病の方も外来で治療をすることが多くなり、その患者さまをサポートする薬局への期待が高まっています。

当社グループでは、所属する薬剤師が専門的な知識を身につけられるように大病院で研修し、臨床での業務を通して知識と技術を深めて質の高い服薬指導につなげています。

また、地域で必要とされる薬局となるために、かかりつけ薬剤師の育成や、専門性の高い薬剤師の育成を進めています。

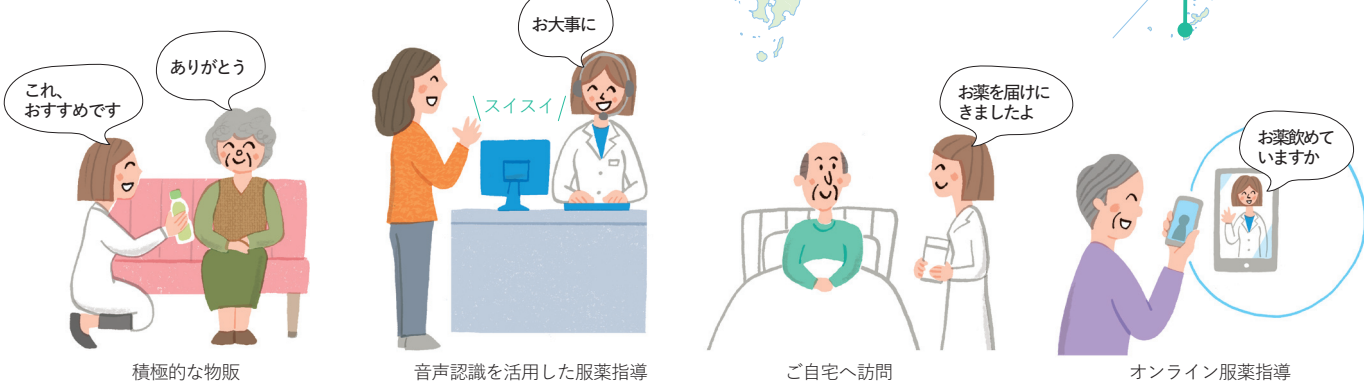
「薬局共創未来」のネットワークで 薬局の経営者をサポートしています

ファーマクラスター（株）が事務局となって運営している「薬局共創未来」は、薬局経営者のための会員組織です。経営者の多くは、独立性と自主性を保った経営を続けたいものの、経営効率の向上や人材の確保、社員の教育、情報の入手などで頭を悩ませています。「薬局共創未来」では、健康サポート薬局の認定に必要な研修や地域連携薬剤師研修などの各種研修を実施したり、会員限定の講演会やセミナーを開催したりして、各薬局の経営をサポートしています。

41都道府県で調剤薬局を展開



当社グループの調剤薬局の強み



高品質なジェネリック医薬品を 安定供給しています

共創未来ファーマ（株）はジェネリック医薬品の製造販売事業を展開しています。厳格な品質検査などの独自の取り組みをご紹介します。

高品質な薬を供給するために 厳しい検査を課しています

ジェネリック医薬品は、使用拡大が求められる一方で、「GMP（医薬品の製造管理及び品質管理の基準）」違反による回収がたびたびあり、市場には混乱や不安が生じています。また、同じ成分の薬に対して数十社がジェネリック医薬品を発売することがあるため、医師や薬剤師のみならず「どれを選べばよいか判断に迷う」という声があがっています。共創未来ファーマ（株）は、精度の高い検査機器を導入し、独自の厳しい基準を設けて、溶出（薬の溶け方）や純度などの品質をチェックしています。

卸売事業、調剤薬局事業と連携して 安定供給しています

共創未来ファーマ（株）は、グループの医薬品卸売事業、調剤薬局事業と連携することで、「いつどのくらいの数量が必要とされるか」という市場のニーズをつかむことができ、長期間にわたる安定供給が可能です。また、注射剤の製造販売も行っており、品川工場は都心にある唯一の注射剤工場です。羽田空港や「TBCダイナベース」に近く、災害時でも安定供給が可能です。



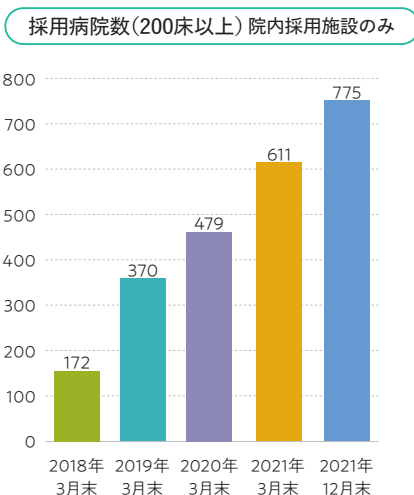
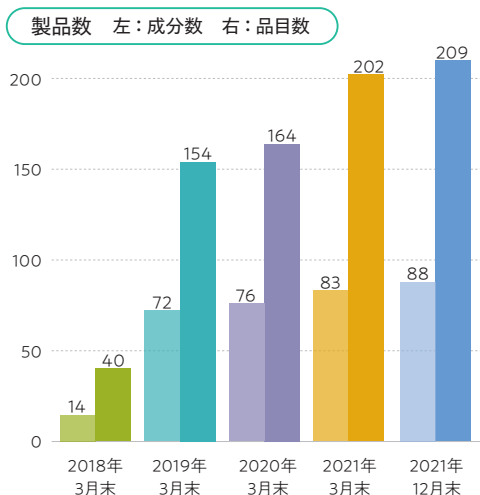
天秤室。標準品や試薬の計量を行なう。セミマイクロ天秤は0.00001g単位を測ることができる



溶出試験機。有効成分が体内で溶けていくスピードをin vitro（試験管内）で調べる



ドラフト室。試験過程で発生した有害な蒸気を外部に出すことなく、吸収し、処理する



共創未来ファーマ（株）品川工場



共創未来ファーマ（株）の取り組みについてはこちらをご覧ください。

よりよい社会づくりのお役に立てるよう、 CSR活動に取り組んでいます

「環境」「患者さま」「顧客」「社員」「地域社会」「株主」。6つの領域でCSR活動を進めています。2020年度以降の活動成果を領域別にご報告いたします。

1 環境のために

エネルギー使用量を把握し、 環境負荷の低減に取り組んでいます

エネルギー使用量や廃棄物排出量のデータを収集・分析し、省エネルギーや廃棄物削減に努めています。



マテリアルフローを把握しています

事業活動を通してエネルギーや水資源、製品、資材を使い（インプット）、その結果としてCO₂や汚水、廃棄物を排出しています（アウトプット）。環境負荷低減を効果的に進めるために、マテリアルフローを継続的に把握しています。

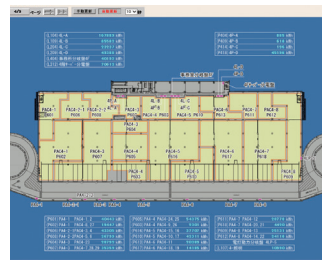


配送の効率化によって CO₂削減に努めています

●BEMSを活用して管理を進めています

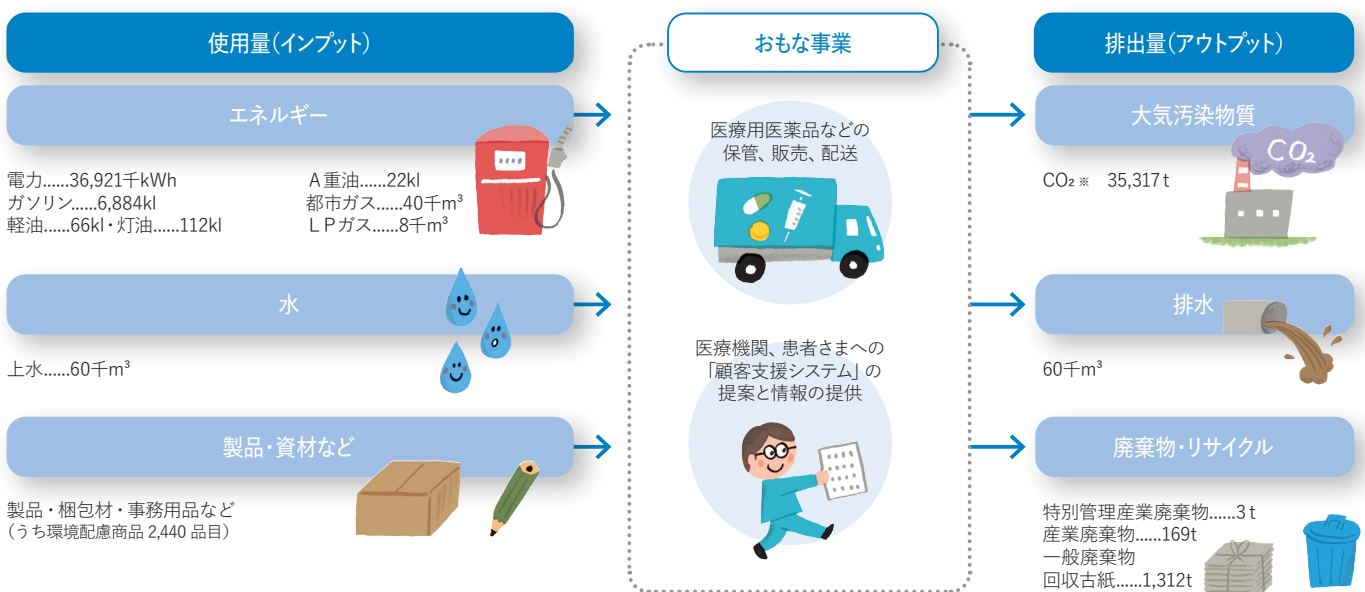
2020年秋に「TBCダイナベース」が稼働したことによ

り、電力使用量が増加しています。物流センターは、多くの空調設備と照明器具を有するほか、大型のマテリアルハンドリング機器やロボットなどを使用するため、ほかの事業所に比べて電力使用量が多くなります。そのため、物流センターにBEMS (Building and Energy Management System) を導入することで、使用量を可視化し、無駄づかいがないかチェックしています。



BEMSによる電力使用量の可視化

東邦ホールディングスのマテリアルフロー (2020年度)



※ CO₂排出量の算定にあたっては、地球温暖化対策推進法に基づく排出係数を用いています。2019年度からCO₂排出量の算定方法を一部変更しました

p16-17の表の対象組織：東邦ホールディングス(株)、東邦薬品(株)、(株)セイエル、(株)幸耀、九州東邦(株)、沖縄東邦(株)、(株)東邦システムサービス、ファーマクラスター(株)

●**配送の効率化などによる環境負荷低減を進めています**

薬局本部システム「ミザル」の自動発注機能と連動させた計画配送により、配送の効率化を進めています。また、「TBCダイナベース」では、Hacobu(ハコブ)というクラウド型のパース管理システムを活用したトラック予約受付サービスを導入することで、ドライバーの待機時間「0」を実現し、ホワイト物流にも貢献しています。予約制にすることで、当社の荷受け作業効率が増すと同時に、待機時間を減らすことで、トラックからのCO₂排出を抑えることができます。

●**環境配慮型車両を導入しています**

当社グループのガソリン使用による2020年度のCO₂排出量は15,970t-CO₂で、前年度より1,058t-CO₂減少しました。車両の入れ替え時には、ハイブリッド車や低燃費の車両を導入するなど、環境負荷低減を進めています。また、「NO検品システム」や「センター直送便」などによる配送の効率化を進めることで、車両台数の削減にも努めています。

●**夜間電力、再生エネルギーを活用しています**

「TBCダイナベース」のロボットは、夜間電力も活用しながら稼働させています。また、ロボットが商品を吸引するヘッド部分は、一定の力が発生した時点で吸引を止める省電力型です。自動倉庫は、コンベアにブレーキがかかると充電される再生エネルギー型で、TBC埼玉とTBC広島でも活用しています。建物は、外壁に断熱パネルを入れ、窓に遮光シートを貼ることで、空調の効果を高めています。

●**太陽光発電による電力を活用しています**

東邦薬品(株)の群馬営業部は、建物の屋上にソーラーパネルを設置して太陽光発電を行なっています。2020年度は

年間26,000kWhを発電して、倉庫棟と事務棟の空調設備や照明に利用しました。



廃棄ロスを未然に防ぐとともに、省エネルギーに努めています

●**GMPを遵守し、回収・廃棄を出さないようにしています**

製造販売事業者は、「GMP(医薬品の製造管理及び品質管理の基準)」に違反すると、その薬を回収し、廃棄しなければいけません。当社では、まずGMPを遵守することを大切にしています。そのうえで、卸売事業、調剤薬局事業と協力して市場の需要を予測し、過剰な生産によって廃棄品が出ないように気をつけています。

●**「ISO14001」を取得し、継続的に改善しています**

工場では、注射剤用の水を沸かす「スチームジェネレーター」に断熱カバーをつけるなどして、エネルギー効率を高めています。省エネルギーや廃棄物削減の活動を継続的に改善していくため、環境マネジメントシステムの国際標準規格「ISO14001」の認証も取得しています。

電力と水道の使用量

| 項目 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|-------------------------|--------|--------|--------|
| 電力使用量(千kWh) | 32,796 | 32,956 | 36,921 |
| 水道使用量(千m ³) | 76 | 61 | 60 |

温室効果ガス(CO₂)排出量

| スコープ | 排出源 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|-------------------|-------------|--------|--------|--------|
| スコープ1 (自社直接排出) | A重油 | 62 | 57 | 60 |
| | 灯油 | 299 | 275 | 281 |
| | 軽油 | 216 | 165 | 170 |
| | ガソリン | 17,926 | 17,028 | 15,970 |
| | 都市ガス | 86 | 78 | 90 |
| | LPガス | 62 | 57 | 54 |
| | 合計 | 18,651 | 17,661 | 16,625 |
| スコープ2 (自社間接排出) | ロケーションベース※1 | 16,333 | 16,022 | 17,296 |
| | マーケットベース※2 | 19,784 | 23,781 | 18,692 |

単位：t-CO₂

※1 その地域の電力網の平均の温室効果ガス排出係数を使用して算出を行なう方式で、電力会社から購入する電源の種類によらず、

使用した電力量に応じて同率の温室効果ガスが排出されると想定した計算の仕方です

※2 電力会社ごとの温室効果ガス排出係数を算定に使用することで、当社が購入している電源の種類を考慮したうえで温室効果ガス排出量を計算する方式です

2 患者さまのために

みなさまの健康をサポートするため、日々システムやサービスを進化させています

各種の「顧客支援システム」によって、スムーズな受診の手助けをしています。調剤薬局の薬剤師は、服薬フォローや訪問業務に力を入れています。

病院探しから、受診、決済まで、「顧客支援システム」でサポートします

● 検索サイト「病院なび」で病院探しをお手伝いします

「病院なび」は日本最大級の医療機関検索サイトです。全国23万の病院やクリニックを掲載し、月間1,000万人以上がアクセスしています(2021年11月末時点)。

住所や電話番号、診療時間などの基本情報だけでなく、MSが収集した当社独自の情報が掲載されており、患者さまは自分の希望に合った病院やクリニックを探し出すことができます。また、医師が監修した信頼性の高いコラム記事を常時150本程度掲載するなど、ユーザーが求める良質なコンテンツを提供しています。

● 「初診受付サービス」で事前に問診に回答できます

「初診受付サービス」は、「病院なび」や各医療機関のホームページから24時間いつでも簡単に初診および2回目以降の受付ができるサービスです。

「事前問診」の機能があり、「どのような症状か」「いつから続いているか」などを回答すると、その内容が医療機関に送信されます。医療機関が事前に診察の準備を整えることができるため、患者さまはより質の高い診療を受けることができます。院内での滞在時間も短くなるので、コロナ禍での感染防止にも有効です。

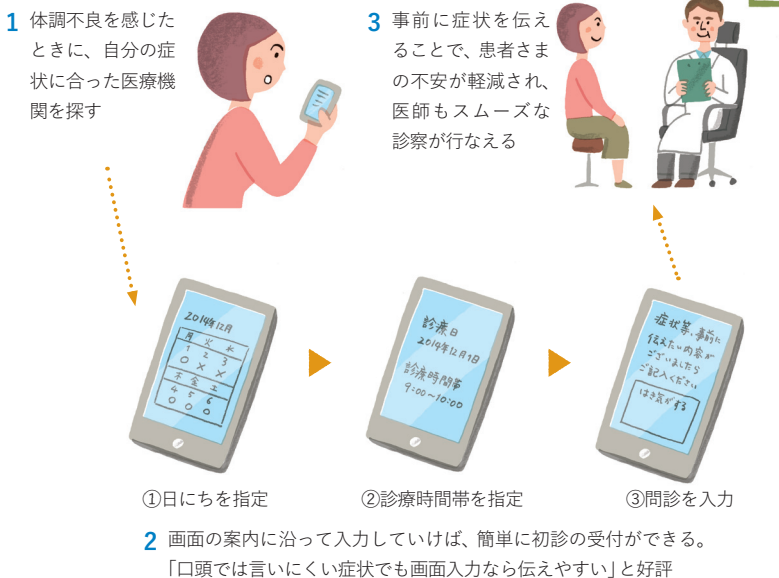
● 「KAITOS」でオンライン診療・服薬指導を受けられます

コロナ禍において各社がさまざまなオンライン診療のシステムを提供していますが、まだ十分な普及には至っていません。その理由のひとつとして、患者さまご自身がオンライン診療に対応する医療機関を探して、そのなかから受診したい医療機関を決めなければならないという繁雑さがあります。

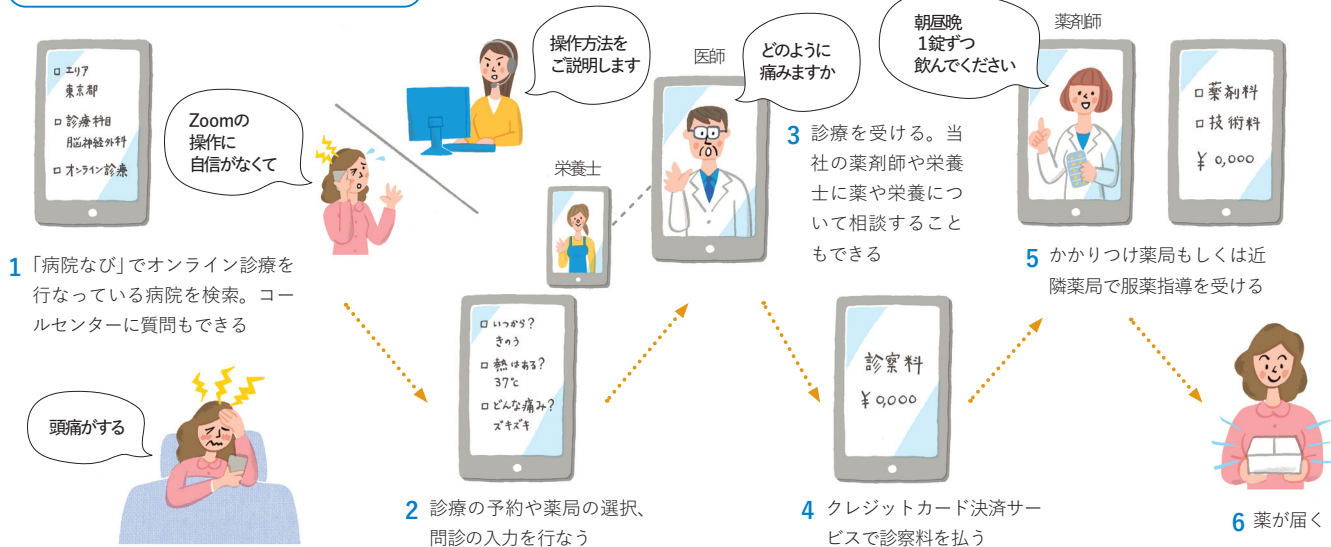
当社のオンライン診療・服薬指導システム「KAITOS(カイトス)」は、「病院なび」と連携することで、オンライン診療を実施している病院やクリニックの検索、予約、受診、決済をスムーズに行なうことができます。オンライン診療専用のコールセンターを設置し、オンライン診療に慣れていない患者さまのサポートも行なっています。



「初診受付サービス」の流れ



オンライン診療・服薬指導「KAITOS」の流れ



ひとりひとりの事情に合わせて 情報提供や服薬指導を行なっています

●LINEとデジタルサイネージで情報を提供しています

共創未来グループでは、調剤薬局を訪れる患者さま向けに「けんこうサポートサービス」を展開しています。これは当社のレセプトコンピュータ「ENIFvoice Core（エニフボイスコア）」を通じて、患者さまひとりひとりの調剤・問診データを活用し、来局されていないときにはLINE配信で、来局されたときには店内のデジタルサイネージで情報提供をしているサービスです。

LINE配信は、長期処方薬を服用中の方に「あと1週間でお薬がなくなります」などのお知らせや、個々の疾患に応じた情報提供を行なっています。2020年9月に義務化された服薬後のフォローにもLINE配信を活用しています。次の来局までに、必要に応じて「正しくお薬を飲んでいますか？」などのやりとりをLINE上で実施し、その履歴を自動で「ENIFvoice Core」内で管理しています。また、製薬企業各社と連携し、薬の使い方がわからない方に服薬方法の動画をLINE配信することで、より質の高い服薬フォローを実現しています。

デジタルサイネージは、「ENIFvoice Core」が患者さまのデータを読み取ると同時に、その方の属性や疾患に合わせた動画を流すことができます。たとえば、糖尿病の患者さまが

「けんこうサポートサービス」による情報提供と服薬フォロー



来局したときに、専用仕器に陳列した健康食品などのなかから糖質オフ糖尿病向けの商品を動画で提案します。

患者さまに適切な内容とタイミングで情報提供を行なうことにより、地域の方々のさらなる健康の増進と医薬品の適正使用推進への貢献に取り組んでいます。

●在宅専任薬剤師がご自宅に薬を届け、服薬指導をしています

薬剤師は、「かかりつけ薬剤師」として、患者さまのご自宅に出向いて医薬品や医療材料をお届けし、服薬指導をすることが求められています。（株）ファーマダイワ（熊本県）の薬局には在宅専任薬剤師が在籍し、在宅医や訪問看護師、ケアマネージャーと連携しています。



在宅専任薬剤師

●店舗やイベントで「健康フェア」を開催しています

（株）ファーマみらいの調剤薬局は、自店舗のほか、地域で開催される健康イベントやお祭りに出店して、「健康フェア」を開催しています。測定機器を用いた健康チェックや管理栄養士による食事の相談会を実施しています。また、各店舗ではOTC医薬品や健康食品の販売に力を入れています。

飲み間違いを防ぐため、錠剤の両面に名称をプリントしています

錠剤にその薬の名前が記載してあれば、包装シートから出したあとでも、間違いずに服用することができます。共創未来ファーマ（株）は、自社で発売するすべての錠剤の両面に薬の名称を入れています。また、刻印ではなくプリントすることで、視認性を高めています。



共創未来ファーマブランドの錠剤

3 顧客のために

システムや情報を提供して、医療機関が安定して事業を継続できるようサポートしています

医療機関も企業と同様に、環境負荷の低減や災害時の事業継続、働き方改革を求められており、当社はさまざまな側面からサポートしています。

「顧客支援システム」で業務の効率化をサポートしています

●「ミザル」で薬局の業務を効率化しています

「ミザル」は、調剤薬局チェーンの本部が各店舗の売上や在庫のデータをウェブブラウザ上から一元管理できるクラウド型薬局本部システムです。過去の処方データをもとに需要を予測して自動的に医薬品を発注する「自動発注機能」により、適切なタイミングで適切な量を発注することで配送回数が減り、薬が届くたびにこなしている検品、在庫データ反映、棚入れ等の作業負担が軽減されます。薬剤師は空いた時間を服薬指導や患者さまの自宅訪問にあてることができ、対物から対人中心の業務にシフトできます。

また、各店舗の余剰在庫品を自動登録し、過去の使用実績をもとに受け入れ可能な店舗に自動的に振り分けることができるので、廃棄ロスがなくなり、店舗の省スペース化にもつながります。

●音声入力で薬歴と服薬指導の質の向上に寄与しています

音声で簡単・正確に薬歴が文字入力できる薬歴作成支援システム「ENIFvoice SP (エニフボイス エスピー)」 「ENIFvoice SP+A (プラスエー)」を展開しています。薬剤師は、薬歴作成の時間を短縮でき、患者さまとのコミュニケーションを増やすことができます。さらに、薬剤検索機能を

はじめ音声操作が可能なツールを多数搭載し、充実した服薬指導をサポートします。

●災害に強いクラウド型のレセコンを展開しています

「ENIFvoice Core (コア)」は、音声入力と音声操作を搭載した電子薬歴一体型のレセコンです。クラウドサーバーを経由して、患者データ・薬歴データを店舗間で共有できます。また、災害など万が一のときでも、バックアップデータから迅速な復元が可能のため、安心して利用できます。



「ENIFvoice Core」

オンラインによる情報提供で、医療従事者の業務を効率化しています

エンタッチ(株)と協業し、オンラインによる「リモートディテリングサービス」を医療従事者に提供しています。従来は、製薬メーカーのMR(医薬情報担当者)が病院やクリニックを訪問し、薬の有効性や安全性を伝えていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大もあって、直接面談する機会が減少しています。そのため医療従事者との結びつきが強い当社のMSが、エンタッチ(株)のMP(メディカルパートナ

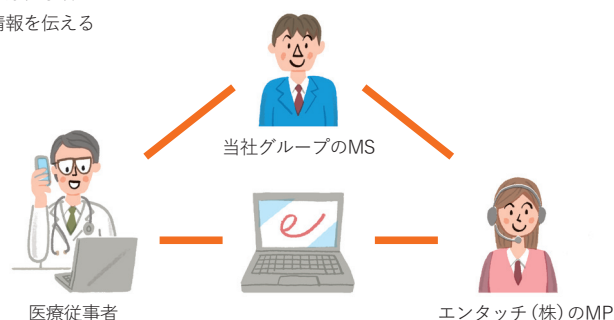
「ミザル」の導入による業務改善

発注を簡素化でき、患者さまへの対応を優先できる



MSがつなぐ「リモートディテリングサービス」

パソコンや電話を使って医療従事者に情報を伝える



一)と医療従事者をつなぐことで、情報提供の場を設けています。医療従事者からは「好きな時間に聞きたい情報を聞けるので効率的」「画面上で資料を見られるうえ、その場で質問できてわかりやすい」などのコメントをいただいています。

徹底した定温管理で品質を保ち、無駄な廃棄を防いでいます

●「サルム」でスペシャリティ医薬品を搬送しています

小型の定温搬送装置「サルム」を用いて、厳密な温度管理が要求されるスペシャリティ医薬品を搬送しています。スペシャリティ医薬品は希少かつ高額なものが多く、製薬会社は緻密な計画を立てて生産していません。大きな費用がかかっており、また、患者さまにとっても代替の薬がないため、廃棄は避けなければなりません。「サルム」は、TBCから搬送したのち、病院やクリニックでそのまま保管しておくことができます。庫内温度が連続1か月以上記録されるため、品質が保証され、廃棄することなく薬を使用できます。



定温搬送装置「サルム」

●「オントレイシス クラウド」で冷蔵庫を管理しています

病院の医薬品冷蔵庫を対象に、温度管理プラットフォーム「オントレイシス クラウド」を提供しています。温度ロガーが冷蔵庫の温度を自動で計測し、温度が逸脱したときはメールで警告が届きます。ロガーは電池内蔵なので停電時でも計測が継続され、災害時でも品質が保証されます。これまで多くの病院では、薬剤師や看護師、検査技師が複数の冷蔵庫を

一日に数回見まわって計測していましたが、「オントレイシス クラウド」は自動計測で、なおかつ履歴をクラウド管理できるため、院内の働き方改革にもつながります。



お客さまの声を大切にして、サービス向上をはかっています

全国3か所にあるコールセンターで、お得意先からの注文や商品に関するさまざまな問い合わせに対応しています。ドラッグインフォメーション、共創未来ファーマ(株)が販売するジェネリック医薬品に関するお客様相談室や、オンライン診療・服薬指導システム「KAITOS(カイトス)」など「顧客支援システム」のヘルプデスクも設置し、お客さまのサポートを行なっています。



コールセンター



工夫をこらしたパッケージで薬剤師の負担を減らしています

共創未来ファーマ(株)は、自社ブランドのパッケージ(個装箱)を「KMPパッケージ」と称して、薬剤師が扱いやすい工夫を施しています。たとえば、箱の表面に複数の含量規格を記載して、箱を見ただけでほかの含量が販売されていることがわかるようにしています。また、リサイクルしやすいように、上から押すと簡単に潰れる設計となっています。

「KMPパッケージ」の工夫

製品情報カード

ミシン目で切り離して薬剤師の製品情報カード(製品名、QRコード)として使用することができます。

GS1コード

製品情報カードにGS1コード(流通のための国際的なコード)を印刷しています。

QRコード

QRコードを読み取ることで、最新の添付文書(医薬品の使用者や医師、薬剤師向けの製品情報を記載した書面)を確認することができます。



含量規格表示

ほかの含量規格も記載しています。この場合、1錠=75mgと150mgの錠剤も販売していることを示しています。

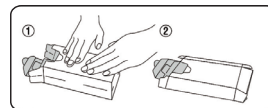


新バーコード

変動情報(製造番号や使用期限)や販売包装単位などを確認することができます。

クラッシュ機能

廃棄するときに、両手で上から押すと簡単に潰れます。



錠剤イメージ図

開封前に錠剤の概要を確認することができます。

4 社員のために

幅広い人材の活用や研修制度を整えて、社員がいきいきと働ける職場をつくっています

社員が健康でやりがいを持って働ける職場環境をつくるために、環境整備や研修の充実に取り組んでいます。

多様性と人物特性を重視して採用しています

●性別、国籍等を問わない幅広い人材を活用しています

当社では、性別・国籍・年齢等を問わない幅広い人材活用と、社員の個性や能力、チームワークを尊重することで、自由闊達な企業風土を醸成しています。

●女性社員の活躍を推進しています

当社では、女性・外国人・中途採用の管理職への登用等で制限を設けず、多様性の確保に取り組んでいます。東邦ホールディングス(株)では2021年6月に、女性取締役の人数をこれまでの1名から2名に増員し、執行役員にも2名の女性を登用しました。管理職に占める女性の割合は11%であり、30%達成を目標に取り組んでいます。また、東邦薬品(株)においても、2名の女性社員を執行役員に登用しています。東邦ホールディングス(株)および東邦薬品(株)の新入社員

における女性の割合も58.4%となっており、人物特性を重視して採用しています。

共創未来ファーマ(株)でも、性別の区別のない採用および登用に力を入れています。社員の男女比は6対4で、女性管理職は全体の20%です。これを25%に上げることを目標としています。

調剤薬局連結子会社における、役員やブロック長などの要職に占める女性従業員の割合は22%となっています。

●障がい者雇用を推進しています

2020年の東邦ホールディングス(株)の障がい者雇用率は2.66%、東邦薬品(株)は2.18%です。2020年12月、医薬品分割販売を行なうPFPにおける障がい者雇用の取り組みを評価いただき、(株)ファーマみらいに世田谷区より感謝状が贈呈されました。引き続き、法定雇用率2.3%を超えるように推進するとともに、障がい者の方が働きやすい環境を整えていきます。

雇用に関する基本情報

| 項目 | | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|-----------------|------|--------|--------|--------|
| 従業員数(人) | | 3,799 | 3,691 | 3,613 |
| | うち女性 | 809 | 805 | 805 |
| 正社員数(人) | | 3,316 | 3,193 | 3,085 |
| | うち女性 | 770 | 764 | 756 |
| 嘱託(人) | | 71 | 75 | 81 |
| CS(キャリアスタッフ)(人) | | 398 | 410 | 434 |
| 契約(人) | | 730 | 798 | 805 |
| 臨時(人) | | 482 | 412 | 396 |
| 外国人正社員数(人) | | 8 | 7 | 6 |
| 新入社員数(人) | | 57 | 37 | 53 |
| | うち女性 | 28 | 17 | 31 |
| 平均勤続年数(年) | 男性 | 22 | 22 | 23 |
| | 女性 | 15 | 15 | 16 |

障がい者雇用率

| | | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|------------|---------------|--------|--------|--------|
| 障がい者雇用率(%) | 東邦ホールディングス(株) | 3.75 | 2.62 | 2.66 |
| | 東邦薬品(株) | 2.08 | 2.10 | 2.18 |

女性活躍に関する情報

| 項目 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|-------------------|--------|--------|--------|
| 女性社員比率(正社員)※1 | 45% | 44% | 44% |
| 女性取締役数(人)※1※2 | 1 | 1 | 2 |
| 女性執行役員数(人)※1※2 | 0 | 0 | 2 |
| 管理職に占める女性の割合※1 | 13% | 12% | 11% |
| 新入社員に占める女性の割合 | 49% | 46% | 58% |
| 男女の平均勤続年数の差異(年)※3 | 7 | 7 | 7 |

※1: 東邦ホールディングス(株)のみ

※2: 2020年度については2021年6月時点の人数

※3: 男性の平均勤続年数-女性の平均勤続年数

再雇用制度の利用者数

| 項目 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|-------------|--------|--------|--------|
| 定年到来者(人) | 133 | 102 | 112 |
| 再雇用制度利用者(人) | 123 | 89 | 103 |

●経験と能力のある社員を定年後も再雇用しています

東邦ホールディングス(株)および東邦薬品(株)は、定年後も継続勤務を希望する社員を「キャリアスタッフ」の呼称で再雇用しています。

●子育てと仕事の両立をサポートしています

●企業内保育園を運営しています

「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)」への取り組みの一環として、子育て中社員のより働きやすい環境を整えるために、物流センター「TBC札幌」の施設内に「みらい保育園」を開設し、2016年10月から運営しています。政府が推進する「仕事・子育て両立支援」に参加し、社員が柔軟にいきいきと働ける環境づくりに取り組んでいます。



「みらい保育園」

●研修を通して力のある人材を育成しています

●顧客支援に重点を置いたMTP研修を実施しています

東邦薬品(株)と卸売事業各社は、顧客のニーズに対して「顧客支援システム」を提案し、成果を出せる社員を育てるために、「MTP(Medical Total Planner)研修」を実施しています。また、調



2020年度の新入社員研修

剤薬局事業の社員もMSと協同して処方元に「顧客支援システム」を提案する力をつけるために同研修を受講しています。

MTP研修を修了した社員は、さらなるスキルアップをめざして、ディスカッションおよび実践を中心とした「Senior MTP研修」を受講することができます。

新入社員向けの研修では会社の事業展開や「顧客支援システム」などの研修のほか、営業所やTBCにおける実地研修、また、薬剤師向けには疾患別研修を行なっています。コロナ禍においては、感染リスクを避けるため、Zoomを活用したオンライン研修およびグループワークを実施しました。また、社外の方を講師に招いての研修も行ないました。

●社員ひとりひとりの人権・人格を尊重し、働きやすい環境を整備しています

●人権を尊重した職場づくりを進めています

当社は倫理綱領を定めており、ステークホルダーごとに行動基準を定め、社員の人権・人格を尊重し、個々の個性・能力を引き出すことができる健全で良好な職場づくりを推進しています。

●ハラスメントの防止規定と相談窓口を設けています

セクシャルハラスメント、妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント、パワー・ハラスメントなどのあらゆるハラスメントを防止するため、ハラスメント防止規定を設け、専用の相談窓口を社内および社外に設けています。相談者が不利益を受けない仕組みや、ハラスメントの事案が生じた際には、原因の分析および再発防止に努める体制を整えています。

おまな福利厚生制度と取得実績(2021年3月末)

| 制度 | 内容 | | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|-----------------------|--|---------------|--------|--------|--------|
| 育児休業制度(人) | 父母ともに休業を取得する場合、子が1歳2か月に達するまでの間に1年間の休業を取得でき(パパママ育児プラス)、子が1歳半、2歳に達するまで延長できる(諸条件あり) | 男性 | 1 | 1 | 3 |
| | | 女性 | 24 | 70 | 77 |
| 育児短時間勤務制度(人) | 復職後、子が3歳に達するまでの勤務時間を5時間45分から6時間の範囲内に短縮できる | 男性 | 0 | 1 | 1 |
| | | 女性 | 14 | 21 | 43 |
| 介護休業制度および介護休暇制度(人) | 要介護状態の家族を持つ場合、年間93日までの休業を取得できるほか、年5日までの休暇を取得できる | 男性 | 1 | 0 | 0 |
| | | 女性 | 3 | 1 | 0 |
| 介護短時間制度(人) | 復職後1日2時間以内での短縮勤務を選択できる | 男性 | 0 | 0 | 0 |
| | | 女性 | 1 | 1 | 3 |
| リフレッシュ休暇および奨励金付与制度(人) | 勤続年数10年、20年、30年、35年の対象者に休暇と奨励金を付与 | 男性 | 257 | 263 | 226 |
| | | 女性 | 66 | 57 | 53 |
| 在宅勤務制度(人) | 特定の業務を効率的、集中的に遂行するために、一定期間自宅での業務従事を認める | 男性 | 0 | 1 | 2 |
| | | 女性 | 1 | 0 | 4 |
| フレックスタイム勤務制度(人) | 業務の都合により、フレックスタイムによる勤務を選択できる | 男性 | 0 | 0 | 0 |
| | | 女性 | 1 | 1 | 0 |
| 年金相談(人)※ | 社会保険労務士による面談方式の個別年金相談を実施 | 男性 | 36 | 31 | 12 |
| | | 女性 | 2 | 4 | 2 |
| 健康相談(回)※ | 月1回、産業医による健康相談を実施 | 男性 | 5 | 1 | 1 |
| | | 女性 | 4 | 4 | 0 |
| 栄養相談(回)※ | 管理栄養士による栄養相談を実施 | 男性 | 21 | 18 | 1 |
| | | 女性 | 40 | 19 | 1 |
| 年次有給休暇平均取得率(%) | | 東邦ホールディングス(株) | 55.8 | 57.2 | 50.3 |
| | | 東邦薬品(株) | 33.5 | 38.6 | 37.7 |

※2020年度はコロナ禍の影響で参加人数と開催回数が減っています

5 地域社会のために

だれもが健康に暮らせるよう、
地域への支援を続けています

「どこシル伝言板」や「見守り協定」で認知症高齢者や障がいをお持ちの方の見守り活動をしています。調剤薬局では、薬剤師や管理栄養士が「認知症カフェ」などを開催しています。


**地域での見守りの輪を
広げています**

●「どこシル伝言板」で認知症高齢者などを見守っています

「どこシル伝言板」は、認知症高齢者や障がいをお持ちの方をみんなで見守るための情報共有サービスです。発見者が服や持ち物に貼られたQRコードを読み取ると、すぐにご家族にメールが送られます。QRコードという広く知られたシステムを利用しているため、「どこシル伝言板」を知らない人でも見守りに参加できるのが特徴です。また、発見者もご本人もご家族も個人情報を登録・入力する必要がありません。これらは当社独自のシステムであり、2021年9月に特許を取得しました。「どこシル伝言板」は、2021年12月までに1都1府35県の207市町村で導入されています。

●自治体と「見守り協定」を締結しています

近年、各自治体は、認知症高齢者や障がいをお持ちの方、子どもたちを見守る目を増やすべく、民間の事業所と「見守り協定」を結んでいます。当社の事業所も、2021年12月までに、165の自治体と見守り協定を結んでいます。

●「認知症サポーター」を増やしています

当社グループの従業員は、全国キャラバン・メイト連絡協議会が運営する「認知症サポーター養成講座」を積極的に受講しています。2021年12月までに、のべ3,555人が受講し、「認知症サポーター」に認定されています。

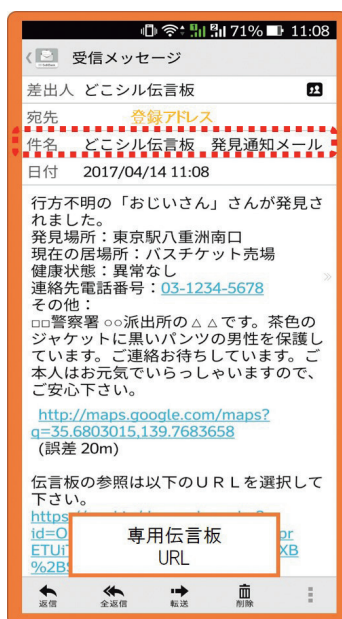

**セルフメディケーションを
手助けしています**

●調剤薬局で「認知症カフェ」を開催しています

当社グループの調剤薬局と管理栄養士は、薬局内で「認知症カフェ」を開催しています。薬剤師が認知症のお薬について講話をするほか、管理栄養士が予防のための栄養相談を実施しています。脳トレや体操もとり入れて、飲み物とお菓子を食べながら楽しい時間を過ごしていただいています。

●「古河Marché」で健康食品を販売しています

(株)ファーマみらいが運営する「共創未来 古河南薬局」(茨城県)では、「スーパーへ買い物に行くように、気軽に調剤



(左)発見者がQRコードを読み取ったときにご家族に届くメール。(中央上と下)自治体名とQRコードを印刷したラベルシールを上着や杖などの目につきやすい場所に貼る。(右)2020年7月の東邦薬品(株)と船橋市の「見守り協定」の締結式

薬局に来てほしい」という願いを込めて、「古河Marché」というフェアを開催しています。毎月テーマを決めて、OTC医薬品や健康食品を販売するとともに、管理栄養士が健康や栄養についてアドバイスをしています。

創業の地・世田谷で スポーツやアートを支援しています

●女子サッカークラブのオフィシャルパートナーです

「スフィード世田谷FC」は、「サッカーに対し熱く純粋な想いを持った女性へ最適な環境を提供すること」を使命として、2001年に設立され、スポーツを通じて良好なコミュニティを築くことをめざしています。当社は、その理念に共感し、2013年からオフィシャルパートナーとして支援を続けています。

●チャリティーイベントで障がい者の就労に協力しています

「世田谷アートタウン」のイベント「フラッグリサイクルプロジェクト」に協賛しています。会期中は街路灯に協賛社名などを記したフラッグ(旗)が掲げられ、会期後にエコバッグやトートバッグ、文具入れにリサイクルされます。その作業を福祉作業所に委託することで、障がい者のみなさまの就労につながるようにしています。

●演劇公演に高校生を招待しています

世田谷パブリックシアターの舞台芸術普及プログラム「未来の舞台人を創る」に協賛しています。学生たちの夢の実現につながればという思いで、首都圏の高校の演劇部学生を同シアターの公演に割引価格で招待しています。2020年度は9校から33名の生徒を招待しました。



(左) なでしこリーグに所属する「スフィード世田谷FC」の背中に「共創未来」のロゴ
(上) 選手たちとともに、世田谷区の本社近くの緑道や公園の清掃活動を実施

TOPICS

健康食の提供やアロマオイルの 販売を行なっています

(株)J.みらいメディカルが運営する「きららみらい薬局 千林店」(大阪府)は、「きららみらい星の子Cafe」を併設し、管理栄養士が考案したヘルシーな料理とスイーツを提供しています。

ベガファーマ(株)がチェーン展開する「くるみ薬局」(大阪府、兵庫県)は、処方せんがないときでも気軽に来局していただくために、アロマ用品の販売を行なっています。スタッフはアロマについての研修を受けて、患者さまにアドバイスをしています。また、店舗内や地域の施設などで、アロマスプレー作りなどのワークショップも実施しています。2021年8月には、武庫川女子大学薬学部と教育と臨床研究の連携・協力に関する協定を締結。同年10月には薬学部薬学科の学生に向けたアロマセミナーを行なうなど、地域医療に貢献する薬剤師の育成に向けた相互連携を深めています。



管理栄養士が考案した料理を提供する「きららみらい星の子Cafe」



「くるみ薬局」でのアロマを活用した除湿ポット作りのワークショップ

6 株主のために

さらなる成長をめざして、 ガバナンスの強化に努めています

株主や投資家のみなさまの期待と信頼に応える企業であり続けるために、コーポレート・ガバナンスや情報開示の向上に取り組んでいます。

健全な経営を継続できるよう ガバナンスを充実させています

東邦ホールディングス(株)は、経営活動の透明性と健全性を維持し、意思決定の迅速化、経営責任の明確化、経営に関する監査や監督の強化をはかるため、コーポレート・ガバナンスの充実に取り組んでいます。

● バランスの取れたガバナンス体制を構築しています

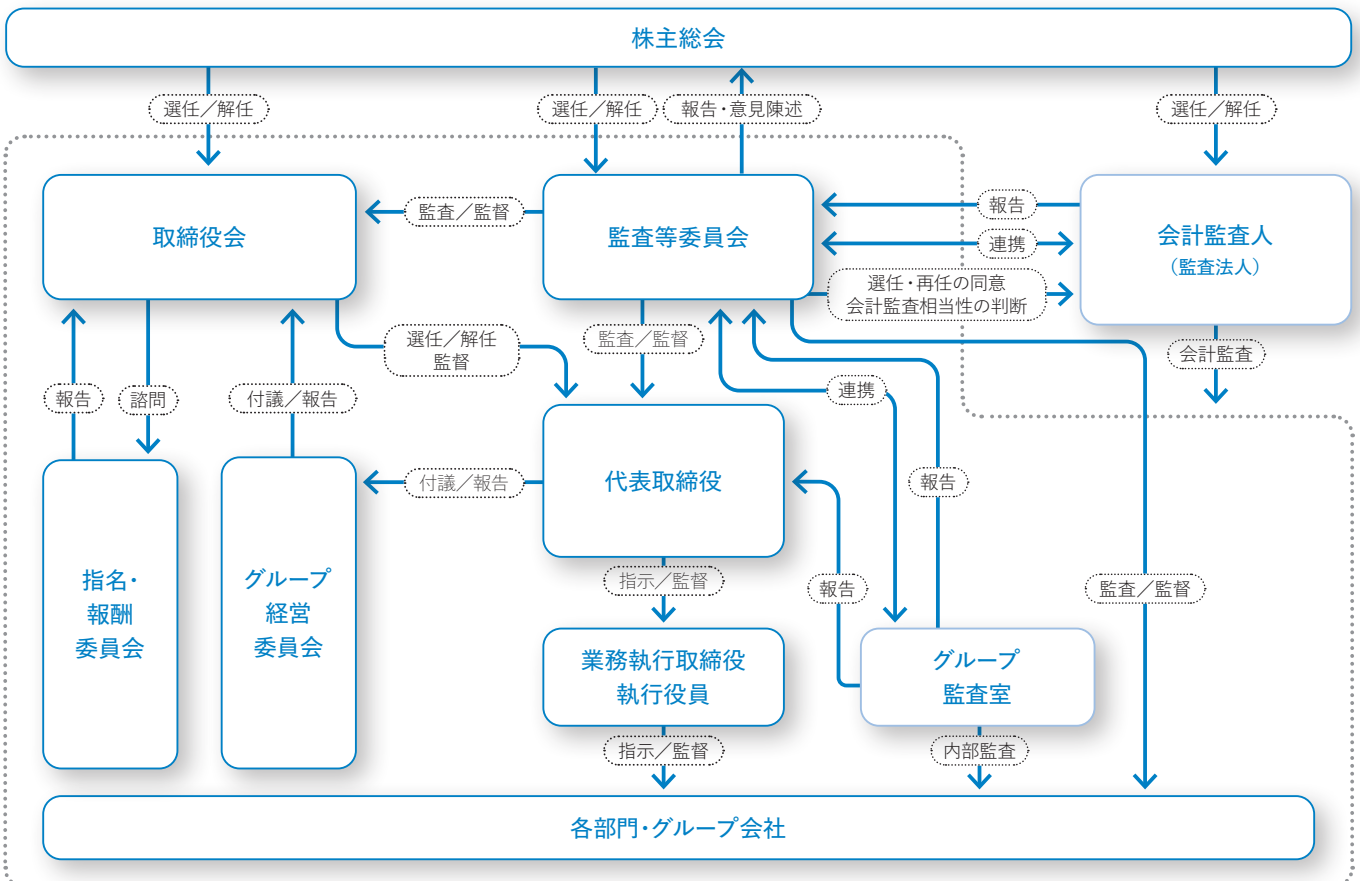
取締役会では、経営上の意思決定および業務執行の監督を行なっています。機動的な経営体制を構築するため、ならび

に責任や評価を明確にするため、取締役の任期は1年、監査等委員である取締役は2年としています。取締役の構成については、2021年6月の株主総会にて、社外取締役の割合を3分の1以上に高めるとともに、女性取締役を1名から2名に増員しました。さらに、指名・報酬委員会を設置し、バランスの取れたガバナンス体制の構築に取り組んでいます。

● 監査等委員会によって適法性や透明性を確保しています

取締役会での意思決定プロセスについては、監査等委員である取締役3名(全員社外取締役)が監査・監督し、議案内容の適法性を吟味するとともに、経営の透明性も確保してい

東邦ホールディングス(株)の業務執行体制、経営監視体制および内部統制の関連図



ます。さらに、グループ会社の監査を行なうグループ監査室や会計監査人と定期的に情報共有や意見交換を行なって、さらなる監査体制の強化に取り組んでいます。

●内部通報制度を整備しています

社内での不正な行為を未然に防ぐため、また早期に発見するため、内部通報制度を設けています。不正な行為を見聞きした従業員は上司を経由することなく、窓口で報告できます。

●適時・適切に情報を開示してIR活動に取り組んでいます

東邦ホールディングス(株)は、金融商品取引法などの関連法令や東京証券取引所が定める適時開示に関する諸規則を遵守し、公平かつ適時・適切に企業情報を開示するなど、IR活動(Investor Relations: 投資家向け広報)に積極的に取り組んでいます。

●ウェブや音声配信を活用して決算説明を行なっています

第2四半期(中間)決算と本決算後には、決算発表を行ない、機関投資家・証券アナリストなどを対象とする決算説明会を実施しています。2020年、2021年は新型コロナウイルス感染症対策のため、ウェブによるライブ配信を行ないました。また、当社ウェブサイトにおいて決算説明会の資料を公開するほか、音声による配信サービスも行なっています。少人数のスマールミーティングや個別ミーティングにも積極的に取り組んでいます。

●海外投資家向けに決算説明会の英訳を公開しています

海外の機関投資家向けには、開示文書や決算説明会資料の英訳をウェブサイトに掲示するほか、経営トップによる機関投資家との対話も実施しています。

●医薬品の情報提供が適正か、教育・監督しています

●ガイドライン遵守のため販売情報監督室を設置しています

厚生労働省は、医薬品の広告やPR活動をより適正なものにしていくために、「医療用医薬品の販売情報提供活動に関するガイドライン」を策定しています。医薬品卸売事業各社と共創未来ファーマ(株)は、販売情報監督室を設置して、このガイドラインに準拠した情報提供ができるよう、従業員を教育・監督しています。共創未来ファーマ(株)は、外部の弁護士や薬剤師を加えた審査・監督委員会も定期的に開催し、資料の適正性を審査しています。

●原薬の製造国および製造企業名を公表しています

医薬品の品質を高く保つため、製造販売事業者は、原薬の製造管理・品質管理も求められます。共創未来ファーマ(株)は、海外の工場に監査に出かけるとともに、その製造国と製造企業名を公表しています。

●株を1単元以上保有する株主へ株主優待品を贈呈しています

東邦ホールディングス(株)では、毎年3月31日(当社期末)最終の株主名簿に記載または記録された1単元(100株)以上を保有する株主へ、株主優待品を贈呈しています。

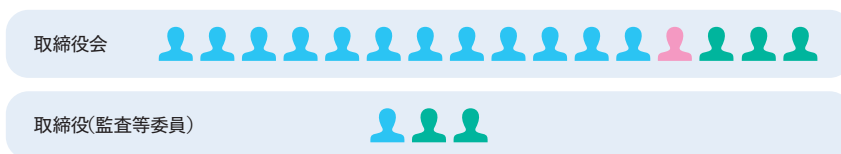


株主優待品の保湿ティッシュとロールペーパー (花柄模様のすかし入り)

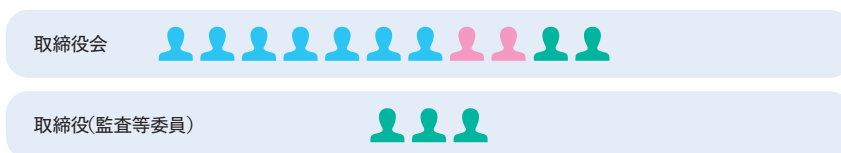
取締役会の構成

ブルーは男性、ピンクは女性、グリーンは社外取締役

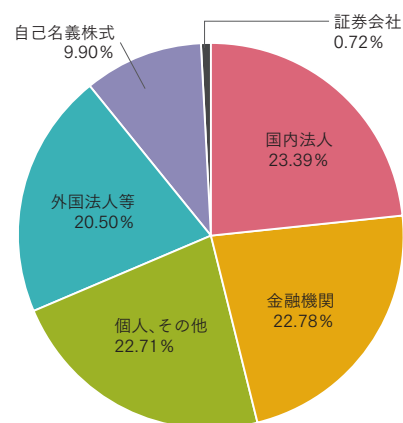
2020年6月末時点

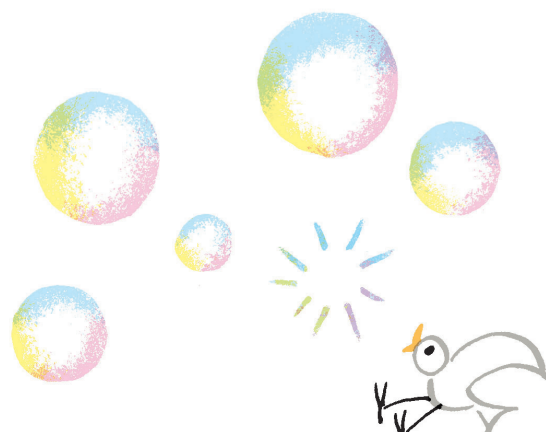


2021年6月末時点



所有者別株式分布状況(2021年3月末)





全ては健康を願う人々のために

共創未来

 東邦ホールディングス株式会社

本社

〒155-8655 東京都世田谷区代沢5-2-1

TEL.03-3419-7811（代表）

CSR報告書のお問い合わせ

丸の内オフィス（経営企画・IR部）

〒100-6613 東京都千代田区丸の内1-9-2

グラントウキョウサウスタワー 13F

TEL.03-6838-2830

<https://www.tohohd.co.jp/>

アンケートの回答にご協力ください



本報告書は、環境に配慮し、FSC® 認証紙を使用し、植物油のインキを使って「水なし印刷」で印刷しています。